

# 新型洗浄機導入における 米飯用保温容器の洗浄効果の検証



図 1 導入した新型容器洗浄機



図 2 洗浄前の保温容器

## 【研究の背景】

支援先は炊飯米飯を高齢者施設等に供給するニーズに対応するために、従来の個食用容器とは異なる、大型の保温性容器を用いて納入する必要が生じました。

そこで今回、経済産業省の補助事業を活用して炊飯米飯用の容器洗浄機（図 1）を導入しましたが、実際に効果的に洗浄機によって容器の洗浄が行われているかを科学的に検証する必要性がありました。

## 【研究の目的】

米飯が触れていた状態の保温容器の洗浄前と洗浄後の清浄度を検査して洗浄機による効果が十分に発揮されているかを調査しました。

## 【研究の内容】

- ① 米飯保温容器の洗浄前と洗浄後における清浄度検査（ATP ふき取り検査）を行い、洗浄装置導入による洗浄効果を数値化しました。
- ② 清浄度の測定には食品衛生検査指針微生物編 2015 の「ATP 拭き取り検査」を参考に、キッコーマンバイオケミファ株式会社のルミテスターシリーズを使用しました。

## 【結果について】

清浄度検査の結果、導入した洗浄機が効果的に米飯の汚れを落としていることが証明されました。

支援先では通常は米飯の保温容器には汚れ防止カバーを使用して米飯を投入する計画なので、米飯が直接容器に触れるケースはほとんどありませんが、今回の検査では

- ① 「容器に汚れ防止カバーを使用して米飯を投入」
- ② 「容器に直接米飯を投入」

という二つの状況の検査を行いました（図 2）。

どちらの状況においても洗浄機を使用した後は理想的な清浄度が実現されており（表 1、表 2）、導入した設備が十分に能力を発揮していることを確認できました。

**当センターでは工場内の衛生度の指標となる清浄度検査を、検査機器を用いて数値化、評価する支援が可能です。ご興味のある方、関心を持たれた方はぜひご相談下さい。**

表 1 保温容器内の清浄度数値 (RLU 値)\*

	汚れ防止カバー 使用時	直接米飯 投入時
洗浄前	302	25,363
洗浄後	32	33

\* RLU 値はルミテスターで得られる相対清浄度数値

表 2 目安となる清浄度の例 (RLU 値)

対象物	基準値**
従業員の手指	1,500
コップ (ガラス)	200
野菜ザル	200
器具備品 (プラスチック類)	500
ドアノブ	300

\*\* これより数値が小さければ洗浄度が保たれているという基準